

津市議会議員

吉田ひろやす

あなたの声を未来につなぐ



令和6年1月発行

発行・編集：吉田博康後援会

議員任期3年目も皆さまの声を市政に届けてまいります！

謹んで新春のご祝詞を申し上げます。皆さま方におかれましては、よき新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。旧年中は、議会活動並びに後援会活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年11月27日から12月20日までの24日間、令和5年第4回津市議会定例会が開催され、議決結果は以下の通りとなりました。

■承認2件・報告4件・条令の制定1件・一部改正15件、令和5年度補正予算14件、請願3件、人事案件（公平委員会委員1名・固定資産評価審査委員会委員6名）7件、その他8件の合計54件が審議されました。

■報告4件を除く、47件は全て承認・可決・同意となりました。

■請願3件については、不採択となりました。

また12月4日に会派代表質問で登壇しました。詳細は2、3ページをご覧ください。

前葉市長との熱き討論



新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、初の新年を迎えて

昨年まで、新型コロナウイルス感染症により、日本そして地域社会に大きな影響を与えてきましたが、新型コロナウイルス感染症が昨年5月に感染症法上の分類が5類へ移行し、少しずつコロナ前の日常に戻りつつあるのではないのでしょうか。

また、日常生活においては、燃料価格や物価の高騰が市民生活に大きな影響を与えました。津市では、昨年の10月に生活応援策としてプレミアム付商品券を発行し、市民生活を支える支援策も行っていました。今年も**市民の皆さまが毎日を安心して暮らせるよう**取り組んでまいります。本年もよろしくお祈り申し上げます。

皆さまからの声（**要望**）を形（**実現**）に出来る活動に全力で取り組んでまいります。本年も皆さまの**吉田博康**に対する更なる**ご支援**と**ご指導**を心よりお祈り申し上げます。

宮本 後援会長 新年のあいさつ



新年明けましておめでとうございます。皆さま方には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

1期4年の前半2年を終え、折り返し地点を迎えました。日頃の皆さまからのご支援に感謝申し上げますとともに、そのご支援を後半2年の活動に繋げ、さらなる飛躍に向けて活動をさせていただきたく、今後も皆さまの絶大なるご支援とともに、ご指導・ご鞭撻を賜りたく、よろしくお祈り申し上げます。

代表質問のようす



[吉田議員 会派代表質問で登壇]

今回の第4回定例会は、12月4日（月）に会派代表質問の議案質疑および一般質問で3番目に登壇し、以下の質問を行いました。なお、とくに重点的に質問した項目や回答の要旨は以下に掲載しますので、詳細な議事録については「議会ホームページ

<https://www.gikai.city.tsu.mie.jp/>」をご参照ください。

また、インターネットを通じた映像配信サービスであるYouTube（ユーチューブ）で録画映像を配信しており、吉田議員が議案質疑を行うようすをご覧いただけます。

（吉田 津市議会 で検索）



質問の発言要旨 Q と回答要旨 A

①【議案質疑】 報告第33号専決処分の報告について、同第34号専決処分の報告について、交通事故による損害賠償について

Q1 職員の交通安全教育は？

A 全職員を対象として安全運転講習会を毎年実施しており、新規採用職員には、市職員が講師となった安全運転研修を採用年度に2回実施しています。このほか交通事故の再発防止を目的として自損事故及び過失割合が50%以上の交通事故を起こした職員に対しては、三重県交通安全研修センターの研修を受講させ運転シミュレータや身体能力検査を実施し、検査結果を基に所属長と面談を行い再発防止に努めています。

Q2 安全運転支援車の導入状況は？

A 公用車の安全運転支援車の導入状況は、689台中、自動ブレーキ（衝突被害軽減ブレーキ）装着車が81台で装着率12%、バックモニター装着車が140台で20%という状況です。新型車では自動ブレーキやバックモニターの義務化が進んでおりますので、今後の公用車の更新時にはできる限り安全運転支援が充実した車両を導入できるように努めてまいります。

①【市政一般】 こども基金の創設に関して

Q1 基金充当の在り方は

A 津市こども基金は、本市のこども・子育て政策を継続的に推進し、将来にわたり安定的な財源を確保することを目的としており、使途について、こどもの医療費の助成拡充、妊産婦医療費の助成拡充、妊婦無料歯科健康診査等、国の支援が届かない事業でかつ、子育てに関わる世帯が直接恩恵を受けることができ、令和6年度以降に本市が独自に新設・拡充する事業に充当します。

4事業の事業費及びこども基金等充当見込額（試算）（単位:千円）

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合 計
(1) こどもの医療費の助成の拡充 (国民健康保険事業特別会計への影響額を除く)	974,583	1,070,335	1,069,144	3,114,062
(2) 妊産婦医療費の助成の拡充 (国民健康保険事業特別会計への影響額を除く)	60,039	78,139	79,285	217,463
(3) 妊婦無料歯科健康診査	5,492	5,079	4,961	15,532
(4) 1か月児無料健康診査	7,390	7,147	6,950	21,487
合 計	1,047,504	1,160,700	1,160,340	3,368,544
三重県補助金(こどもの医療費分)	370,525	402,036	400,317	1,172,878
(1)~(4)に必要な一般財源	676,979	758,664	760,023	2,195,666
うち基金等 充当見込額	233,533	266,263	94,400	594,196
こども基金	443,446	492,401	665,623	1,601,470

Q2 こどもに関する施設修繕等への基金の充当は？

A 令和6年度以降に本市が独自に新設・拡充する直接恩恵のある事業に充当することを予定しているため、現時点では、保育所等の施設修繕に充当することは予定しておりませんが、施設の適正な管理は重要と考えておりますことから、一般事業でしっかりと取り組んでまいります。

②【市政一般】津市新エネルギー利用設備設置費補助金制度について

Q1 制度の利用状況は？

A 津市新エネルギー利用設備設置費補助金制度の利用状況については、10月末現在で、太陽光発電システムの設置補助が98件、家庭用燃料電池システムの設置補助が78件の計176件の補助金交付を決定しており、今年度の当初予算については100%執行する予定で、現在各申請者からの実績報告を順次受けている状況です。

Q2 補助金制度の拡大の考えは？

A 地域脱炭素の取り組みは事業者、各団体そして各家庭（個人）で積極的に取り組んでいただく必要があります。そうした中で来年度に向けて各家庭での取り組みに対する補助金については、さまざまな角度から検証を行っている状況です。国や県の状況も注視しながら各家庭での地域脱炭素への取り組みにつながるような補助金の充実を図りたいと考えてまいります。

③【市政一般】地域公共交通の今後について

Q1 新型コロナ5類移行後のコミュニティバスの利用状況は？

A コミュニティバスの利用状況は、再編前の令和2年度における利用者は76,967人でした。令和3年度は59,409人で、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響が薄れ68,013人で、新型コロナの感染症法上の位置付けが5類となった令和5年度の上半期は35,949人であり全体の利用者数は増加傾向にあります。

他市町で導入されているデマンド型の地域公共交通（静岡県小山町）



Q2 地域に応じた今後の地域公共交通計画の在り方とは？

A 現在、都市計画部と健康福祉部が連携して、令和8年度に実施するコミュニティバスの時期再編を見据えた検討を進めており、現在の運行に係る財源の範囲の中でより多くの方にご利用いただき利便性が高まるようにバス停までの距離を短縮すること、需要のある便を効果的に運行することを柱として、路線定期運航に代わり、運行の方式やダイヤ、発着地の組み合わせにより多様な運行が可能なデマンド型の導入について検討を進めています。基本的な考えを整理した上で2024年1月下旬以降に予定している地域公共交通あり方検討会で各地域の皆さまとの話し合いを始める予定です。

④【市政一般】津市における公立小学校・中学校の適正規模・適正配置の考えについて

Q1 複式学級のある学校数は？

A 令和5年度において、複式学級のある小学校で9校、中学校には複式学級はありません。

Q2 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に係る教育委員会の考えは？

A 学校教育法施行規則第41条には「小学校の学級数は12学級以上18学級以下を標準とする。ただし地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない」とあることから国が標準と定める学級数が適正規模であるという認識は持っていますが、学校規模の適正化は学級数だけで考えるのではなく、あくまでも児童生徒の教育条件の改善の観点を中心に据え、学校教育の目的や目標をより良く実現するために行うべきものであると考えています。

後援会員レポート

議会の現場に潜入！津市の未来を動かす熱い舞台

12月4日に議会を傍聴してきました！議場の雰囲気は厳かで、まるでドラマの舞台のようで、津市の未来を決める重要な場所だと感じました。議員の皆さんは市民の声を代弁し、津市の事業を進めるために一生懸命取り組んでいるのが分かり、議論や質疑応答を通じて市民の声が反映される様子に感銘を受けました。

津市の事業はこの場所で決まっていくのです。皆さまも津市の未来を動かす議会の現場に潜入してみませんか？津市の発展を支える舞台を覗いてみることで、市政活動をより身近に感じ、津市の未来を考える機会になれば幸いです。

議場のようす



次回定例会の日程 (予定)

- 2月21日(水) …………… 開会日(議案上程ほか)
- 3月 4日(月)～ 7日(木) …… 会派代表・個人一般質問
- 3月11日(月)～ 14日(木) …………… 各常任委員会
- 3月21日(木) …………… 閉会日(議案表決ほか)

※日程は変更される場合もあります。

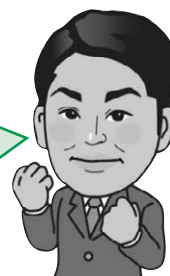
- ◆ 問い合わせ：津市議会事務局 (TEL 229-3222)
- ◆ 津市議会ホームページをご確認ください。

本会議と委員会をインターネット生中継及び録画放送します。また、ケーブルテレビ(ZTV)の6チャンネルで本会議の録画放送(後日)は、これまで通り行っております。

Official Webサイト



オフィシャルWebサイト・SNSで活動情報発信しています。QRコードを読み取りアクセスください。
URL : <https://yoshida-hiroyasu.com/>



市政へのご意見・ご要望は吉田博康へ

吉田博康後援会

事務所

〒514-0315 三重県津市香良洲町3685-6
TEL/FAX : 059-271-6577

連絡先

〒514-8555 三重県津市藤方1668番地
パナソニックエレクトリックワークス労働組合内
TEL : 059-228-9129 FAX : 059-228-1613
E-mail : yoshida.world@jp.panasonic.com